

創刊110周年記念

# 誇れるふるさと

## 24地区リレー

〈vol.16〉

＜琴芝④ 散策マップ＞

東西に細長い琴芝地区の西側を通る国道490号。中心市街地から琴崎八幡宮へとつながる別名「参宮通り」沿いには、数々の店舗が立ち並んでいるが、一歩道を入った周辺には古い歴史を持つ史跡が多く残っている。琴芝ふれあいセンター①を発着点に、梶返地域周辺を巡る約3キロのコースを1時間ほどかけて散策した。



# 情緒あふれる桃色れんがの道

## 道真ゆかりの梶返天満宮も

ふれあいセンターから出てすぐ、梶返東西道路と呼ばれる市道の緩やかな坂を上り、交差する梶返南北道路に入ってから高台へ進むと、右手に



桃色れんがが塀②が現れる。市道から弧を描いて奥へと延びるれんが塀に囲まれた小路には、映画に出て来そうないにしえの情緒が残っている。さらに進むとたどり着くのが、梶返天満宮③。菅原道真ゆかりの梅の木が立ち並ぶ境内では毎年慰霊盆踊り大会があり、隣に「続き」になっている児童公園は、親子連れや小学生の遊び場として親しまれている。そのそばには、道真が梶返の地に上がった時に手を洗ったと伝わる「菅公御手洗の池」④。同宮千百年祭記念事業で、池の囲いがきれいに復元された。天満宮を離れ、常盤用水路⑤沿いのあぜ道は、かつてこの場所にあった同宮参道入り口を示す大鳥居の跡。1965年に解体され、記念碑が建てられた。折り返して産業道路から細い市道へ行く。参宮通りに出て南へ下り、西梶返交差点で道路を反対側へ渡る。コースも半分まで来た所で、道路沿いにある喫茶店に入って小休憩。琴芝の向かいにある神原公園⑥まで行くと、木々が茂る自然の中で一息つける。琴崎八幡宮の碑⑦へと戻る。

今回歩いたのは琴芝地区の一部分。常盤湖方面や真綿川方面まで足を延ばしてみると、また違った歴史や景色が楽しめます。次回が常盤地区。2月14日スタート。